バッチアイスクリームフリーザー **取扱いマニュアル**

LABO812/J



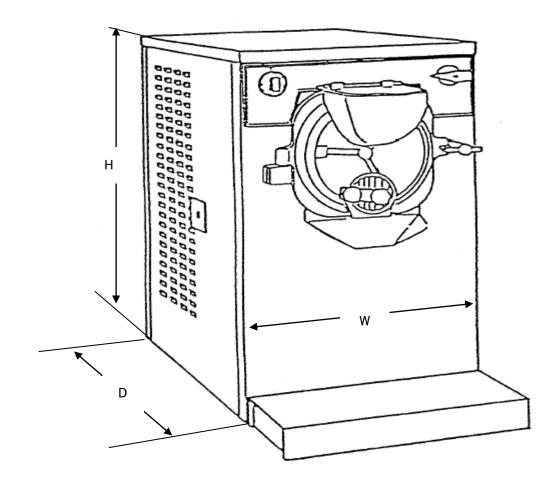
◆◆◆目 次◆◆◆

1.	ご挨拶	2ページ
2.	機械保証条件	3ページ
3.	機械設置について	9ページ
4.	スイッチ、部品の説明	12 ページ
5.	分解洗浄、殺菌方法	14 ページ
6.	組み立て作業	16 ページ
7.	製造方法	17 ページ
8.	トラブルシューティング	19 ページ
9.	パーツリスト	20 ページ

御挨拶 御挨拶

この度は、カルピジャーニ社製バッチフリーザーをお買い上げ頂き、誠に有難うございます。 カルピジャーニ社の製品を充分に御使用して頂くために、御使用される前に必ず熟読されますよう、お願い申し上げると共に、今後の御発展と御繁栄をお祈り申し上げます。

	製造能力	電源	電気	ブレーカー	最小	最大	寸 法 mm	重
機 種	Kg/hour	V/相	容量	容量	投入量	投入量	$W \times D \times H$	量
			KW	Α				Kg
LABO812/J	8~12	200V	1.7	15	1.3kg	2.75kg	380 × 718 × 696	100
		3P						



1.機械の保証条件

(1) 保証期間及び範囲

保証期間は、機械弊社出荷日から 1 年間と致します。無償保証の範囲は故障した当該部品とし、代品を支給する事と致します。アフターサービスの御依頼は、弊社もしくは弊社指定代理店へ御連絡下さい。ただし、下記による故障については、保証期間内であっても有償となります。

(2) 保証出来ない範囲

- ① 取扱い説明書及び、保証書に指定した使用範囲を守らなかった事による故障の場合。
- ≫部品の組み立てミスに起因する故障
- >ビーターブレード、オーリング等、通常消耗部品を指定期間内で交換しなかった事に起因する故障
- ② 取扱い説明書と本体に表示されている禁止事項・注意事項・指示事項を守らずに、機械を停止 させ故障に至ったと弊社が判断した場合。
- ③ 据付工事に不備がある場合。
- >据付工事中取扱い不良の為損傷、破損
- >据付配管工事の電気配線不良と判断される場合。
- ▶弊社関係者が工事上の不備を指摘したにもかかわらず、改善されなかった場合
- ≫各種法規に違反する工事により生じた事故
- >振動が大きく、もしくは運転音が大きいのを承知で運転した場合
- ▶軟弱な基礎、軟弱な台枠が原因で起こした場合
- ≫弊社の製品仕様を現地改造した場合、または移設したことにより生じた事故の場合
- >電気部品への切粉侵入による事故(追加部品等取付けの為の穴加工事)
- ▶本品に指定された設置場所、使用温度範囲(次ページを御参照下さい)、使用電圧の範囲を守らなかったことによる事故の場合
- ④ 弊社の製品仕様を据付に当たって現地改造、付帯工事あるいは移設したことにより生じた事故、 または弊社製品付属の保護機器を使用せずに事故となった場合。
- ⑤ 運転環境及び保守点検が不備なことによる事故の場合。
- ≫据付場所の不具合による事故(高温高湿度、化学薬品等の特殊環境条件)
- ≫制御機器等調整ミスによる事故
- ▶メンテナンス不備(弊社指定の代理店以外の技術者による点検、整備を行った場合)

- ≫修理作業ミス(部品違い、欠品、取付け不良)
- ▶冷媒過充填、冷媒不足及び冷凍機油不足による事故(始動不良、電動機冷却不良、潤滑不良)
- ≫異常電圧による事故
- ⑥ 電源源不具合による事故の場合。
- ➤電源側のヒューズ溶断、電線の端子緩みによる単相通電(欠相)によって起こるモーター、コンプレッサー、電装品の不具合事故
- ➤停電後、非常電源への切り替え後の始動時に起こる電源電圧異常低下(200V以下)によって起こるモーター、コンプレッサー、電装品の不具合事故
- ➤雷などによる電源への異常高電圧の印加、あるいは過大ノイズ印加によるモーター、コンプレッサー、 電装品の不具合事故
- ⑦ 本製品に指定された使用外気温度(湿度)、使用電圧の範囲を守らなかった事による事故。
- ⑧ 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変による事故。
- 9 国外で使用した場合。
- ⑩ 車両、船舶に搭載使用した場合。
- ① その他、機械の据付、運転、調整、保守上常識となっている内容を逸脱した工事及び使用方法での事故は一切保証出来ません。また、機械運転停止に起因した冷却物、営業保証等の二次補償は致しません。従って、二次災害については情報システムの設置あるいは弊社代理店と相談の上、事前に損害保険を掛ける等で対処して下さい。
- ② いかなる自己改善による故障。
- ③ オーリング、ビーターブレード、ビーターシール等、通常消耗品全般及びこれら装着不備又は消耗を放置していた事に起因するトラブル全般。

<u>使用範囲</u>

周囲温度	10∼+32°C		
周囲湿度	0~85%		
電源電圧	3 相 200V ±5%		
電圧不平衡率	2%以内		
設置場所	屋内		
使用冷媒	R-404A		
使用原料温度	10℃以下		
部品洗浄温度(プラスチック製品)	45℃以下		

2.機械設置上の注意

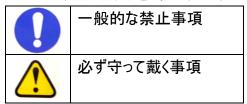
安全に関する重要な内容です。よくお読みの上、必ずお守り下さい。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い戴き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に 防止する為のものです。

誤った取扱いをした時に死亡や重大な事故に結び付く可能性が、大きいものを≪**警告**≫の欄に、状況によって重大な結果に結び付く可能性があるものを≪**注意**≫の欄に記載してあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載してありますので必ずお守り下さい。

取扱い説明書は、お使いになる方がいつでも見ることの出来る場所に必ず保管して下さい。

絵表示については、次のような意味があります



≪警告≫

〇据え付け工事



据え付けは、専門業者に依頼して下さい。

ご自分で据付工事され、不備がありますと水漏れや、感電・火災の原因となります。



据え付けは、機械の重量に耐えうる場所に確実に行って下さい。

万一不備がありますと、機械が転倒し、ケガの原因になります。



水のかかる恐れのある場所に据え付けないで下さい。

発火や感電の原因となります。



湿気の多いところや、水のかかりやすい場所に据え付けないで下さい。

絶縁低下から、漏電・感電の原因となります。

〇電気工事



必ず専用回路を使用して下さい。

電気工事は電気工事業者へご依頼して下さい。<電気工事に関する技術基準>・<内線規定>及び、取扱い説明書に従って施工し、必ず専用回線を使用して下さい。

専用の漏電ブレーカーを用意し、着実に接続して下さい。不備があると感電・火災の原因と なります。





機械に接続する配線は確実に接続し、配線接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に接続して下さい。

アースが不完全な場合、発熱・火災の原因となります。

アース工事を行って下さい。



電気工事業者による第3種設置工事を必ず実施して下さい。アース線は、ガス管・ 水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないで下さい。

アースが不完全な場合、感電及び機械誤動作の原因となります。

電源は専用コンセントを使用して下さい。



電源コードは途中で接続したり、たこ足配線をしないで下さい。機械から半径 2m 以内、床より 1m 以上の位置にコンセント(ツイストロック、又はハイプロスイッチ)を取付けて下さい。

電源コードを傷つけたりしないで下さい。



電源コードを傷つけたり加工したり、引っ張ったり、束ねたりしないで下さい。又、

重いものを乗せたり、挟み込んだりすると電源コードが切断され、ショートして感電・火災の原因となります。

〇使用上の注意



安全装置の設定は変更しないで下さい。

オーバーロードの設定及び固さ調整をむやみに変えると、モーターやコンプレッサーの焼損、起動不良の原因となります。



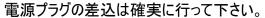
漏電遮断機が作動した場合には、機械購入先にご相談下さい。

無理な電源復帰を行うと感電・火災の原因となります。



機械に直接水をかけて洗浄やすすぎをしないで下さい。

ショートや漏電ブレーカーが作動する等の原因となります。





電源プラグは、ほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタの無いように確実に差し込んで下さい。ほこりが付着したり、接続が不完全な場合、感電・火災の原因となります。

〇修理



分解、修理、改造は行わないで下さい。

弊社指定業者以外の方は、機械内部を分解したり、修理、改造を行わないで下さい。 分解、修理、改造に不備があると、異常動作によりケガをしたり、感電・火災の原因となりま す。



異常時は運転を停止にして下さい。

異常時は、運転を停止して漏電遮断器を切って下さい。異常なまま運転を続けると感電・ 火災の原因となります。

〇移動



移設は専門業者にご相談下さい。

据え付けに不備がありますと、水漏れ・感電・火災等の原因となります。

≪注意≫

○使用上の注意



取扱いマニュアルを充分読み、作業を行って下さい。



濡れた手でプラグに触れないで下さい。



漏電遮断器は、定期的に動作確認して下さい。漏電遮断器が正常作動しないまま使用すると、漏電時に作動せず、感電の原因となります。



電源プラグを抜く時は、先端のプラグを持って行って下さい。コードを引っ張って抜くと、コードの 一部が断線され、発熱・発火の原因になる事があります。



長時間ご使用にならない時は、安全の為電源プラグをコンセントから抜いて下さい。 ほこりが溜り、発熱・発火の原因になる事があります。



原料の代りに水を入れての運転は出来ません。重大な故障につながる危険があります。



原料投入については、器具類及び、原料パックの洗浄殺菌には充分心掛けて下さい。



原料投入量の最低と最大の表示が取扱いマニュアル中に示しています。必ずお守り下さい。



アラーム表示が出ている場合には、必ずその内容または、番号を確認し、機械購入先にご連絡下さい。

〇電気工事



指定容量の漏電遮断器を取付けて下さい。

電気工事業者へご依頼下さい。

機械には、単独の指定容量の漏電遮断器が取付けられていないと、感電・火災の原因になります。

〇据え付け工事



機械の運搬は、転倒しないように慎重に行って下さい。

機械は頭部が重い重量物です。フォークリフト等での運搬は、垂直に保ち、転倒させないで下さい。ケガの原因になります。

また、人力で移動させる場合は、足元に充分ご注意の上、ケガをしないように注意して下さい。

3.機械設置について

設置場所



機械の設置場所は、安定した場所に設置してください。

不安定な場所に設置した場合は、機械の振動音が共鳴して異常音を発生したり、機械の振動により機械に揺れが発生し、機械が落下、転倒するなど、人身事故、機械損傷の原因となりうります。

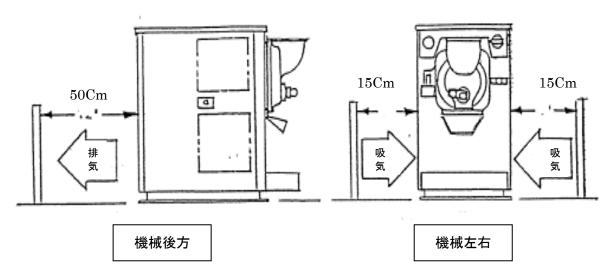


本機は空冷機ですので、直射日光の当たる場所や高温になる場所への設置は避けてください。機械本来の能力が得られなくなる場合が御座います。



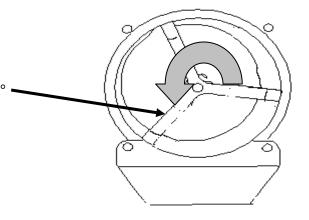
本機は空冷機ですので、空気の吸、排気の為、下記の通りの左右、後方にスペースを空ける必要があります。

十分なスペースが確保されていない場合は、本来の能力を得られないばかりではなく、機械故障の原因となりますのでご注意下さい。



回転方向

機械正面から確認した場合 ビーターが反時計方向に回転します。



*機械回転方向の変更は、プラグソケット、又はハイプロ接続配線端子部で行って下さい。 機械内部の電気装置部で配線変更した場合は、正常動作しなくなる恐れが御座います。

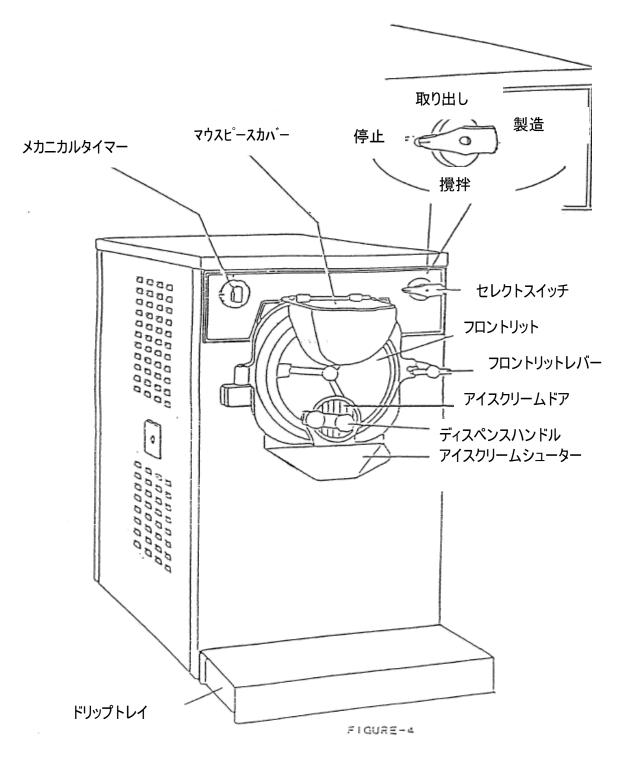
電気接続



- ▶ 電源接続は圧着端子を用いて、プラグ(ツイストプラグ推薦)、又は、ハイプロに接続してください。
- ▶ 電源配線の中で被服の色が緑/黄色の線はアースです。 電気工事業者により第3種設置工事を行ったアース線と接続してください。

4.スイッチ、部品説明

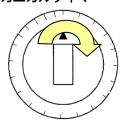
(1) 操作スイッチ、部品説明



セレクトスイッチ						
STOP	停止	機械は全て停止します。				
	製造	アイスクリームの製造を行います。 HOM コントローラーの働きにより、アイスクリームを一定の固さで製造します。 コンプレッサーとビーターモーターが動きます。				
	取り出し	アイスクリーム出来上がり後の取り出しを行います。 コンプレッサーは動かず、モーターが回転します。				
	洗浄	洗浄、薬品殺菌の際に使います。 モーターが動きます。 水やお湯での攪拌は 30 秒以内にしてください。				

部品

メカニカルタイマー



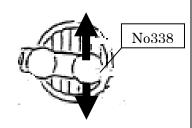
* 時計方向に回転させてください

アイスクリーム出来上がり目安時間を設定する事により、設定された時間になるとベルが鳴り、アイスクリーム製造完了の目安となります。

機械とは連動しておりませのでベルが鳴りましても、機械は停止しません。必ずアイスクリーム固さ確認、アイスクリーム取り出し、機械停止の作業を行ってください。

又、原料により、製造時間は異なりなすので、設定時間はお客さまで調整してご使用下さい。

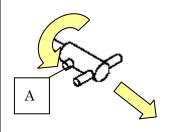
ディスペンスハンドル



アイスクリームを取り出す際は、No338 ハンドルを上側に持ち上げます。

取り出しが終わりましたら、No338 ハンドルを下側に下げます。

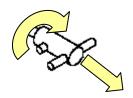
フロントリットレバー



フロントリットを固定します。

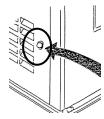
フロントリットを閉じる場合は、ハンドルを手前に引っ張り、反時計方向に回転させます。

A のピンがフロントリットにしっかりとはまっているかご確認ください。 ハンドルを引っ張らずに回転させますとフロントリットを破損させる原 因になりますのでご注意ください。



フロントリットを開ける場合は、ハンドルを手前に引っ張り、時計方向に回転させます。

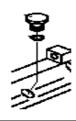
リセットボタン



コンプレッサーやモーターに高負荷が掛かった場合に安全装置が 働きます。その場合は機械右側面後方のリセットボタンを押してく ださい。安全装置が解除出来ます。

安全装置が働いた原因が不明な場合や度々安全装置が働く場合は技術員による点検が必要ですので、お買い上げ代理店、または、弊社へご連絡ください。

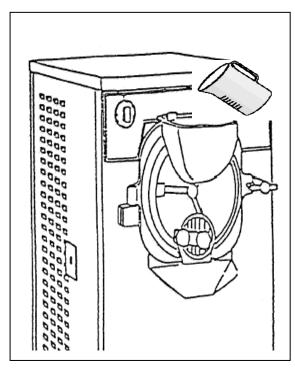
エアープラグ



原料や水を投入する際に取り外してください。

エアープラグを取り外すことにより、空気抜きが容易になり、原料や水の跳ね返りを防げます。

5.分解、洗浄、殺菌方法



アイスクリームを全て出し、ドアを閉じて、投入口から水又はお湯(30°C~40°C)を投入して、シリンダーに半分程度の水を溜めます。

洗浄スイッチ にして、2~3 秒間攪拌します。

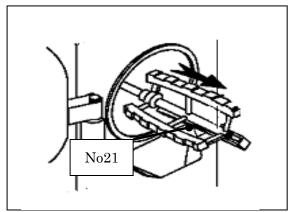
水を排出し、シリンダー内にアイスクリームが残っ ていないか確認してください。

残っている場合はこの作業を繰り返して下さい。

ご注意

水やお湯での攪拌は 30 秒間内にしてください。 長時間の攪拌は部品の短期間での消耗原因と なりますのでお止めください。

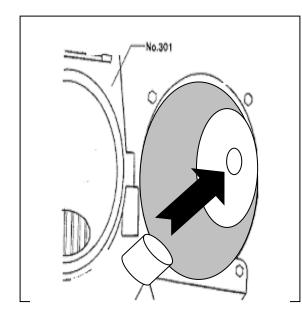
40℃以上の高温のお湯を投入しての洗浄は、お止めください。部品破損原因となります。



②No21 ビーターを取り外します。

この際にビーターエンドをシリンダーにぶつけない為 に、ビーターが抜けて来た際に手で確りと抑えて、 ビーターを引き抜いてください。

シリンダーに傷を付けてしまった場合には、鉄粉等の異物混入の原因となる恐れがありますので、 細心の注意を払ってください。



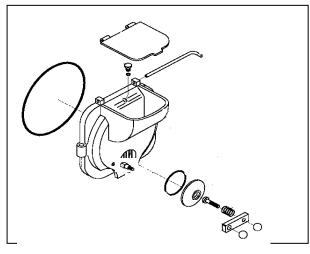
② No301 フロントリッドを 90° 開き、上へ持ち上げ、 機械から取り外します。

シリンダー奥のビーター差込穴にシリコンシールド プラグを差し込んでください。

シリンダー内を中性洗剤の含んだスポンジで洗浄します。

ご注意

シリンダー奥のビーター差込穴にシリコンシールド プラグを差し込んでください。装着せずに洗浄作 業を行いますと、水が機械内部に侵入し、機械 故障の原因となりますのでご注意ください。

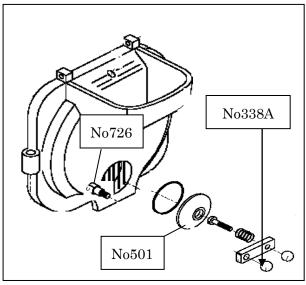


④No7 フロントリッド部分のオーリングや部品等を取り外して中性洗剤で洗ってください。

オーリングを外す際には、付属のオーリングリム― バをご使用ください。

これ以外の先の尖った物で外しますと、オーリングに傷等が付きますのでお止めください。

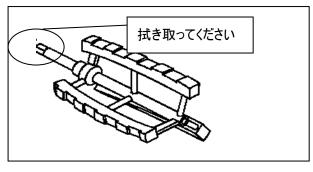
又、アイスクリームシューター裏側などもブラシを 使用してよく洗浄してください。



⑤ご注意

No501 アイスクリームドアを分解する際は、No338A ノブの左側のみ取り外して、分解してください。No726 スタットノブを取り外しての分解洗浄は行わないで下さい。これを繰り返しておりますと、ネジ山が破損してしまい、No726 が固定出来なくなる恐れが御座います。

又、No726 スタットノブが緩んでしまった場合は、 しっかりと固定してご使用ください。



⑥ No21 ビーターのシャフト部分が油で汚れている場合がありますので、ペーパータオル等で拭き取ってから洗ってください。

- ⑦ 洗浄の終わった部品はペーパータオルの上で乾燥させます。
- ⑧ 製造前に全ての部品を機械に取付け、シリンダー内に次塩素酸系殺菌剤を投入して、更に水をシリンダー内が一杯になるまで投入してください。 攪拌スイッチを押して、5~10秒間ビーターを攪拌させて、濃度が均一な殺菌液に調整してください。 攪拌時間は短時間で終了させてください。 長時間、運転した場合は、ビーターブレードを短期間で消耗、破損させる原因となります。

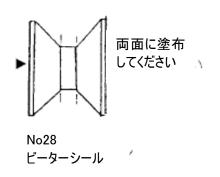
殺菌液に3~5分浸した後、部品を組み付けた状態のまま、上水でリンスしてください。 殺菌後は、部品を外して他の場所に置いたり、不用意に部品に触れたりしないでください。 殺菌液に浸せなかった部分はアルコールで十分消毒してください。

ご注意

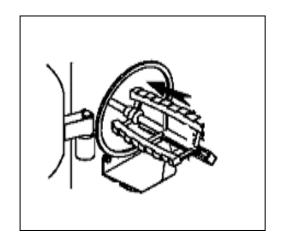
殺菌剤はメーカー指示に従ってお使いください。又、部品の殺菌液への、つけおきは部品の破損 原因となりますのでお止めください。

6.組み立て作業

部品組み立ての際には、必ずオーリング類にカルピジャーニ社純正潤滑グリース・ジェリリューブを 塗布してください。又、オーリング類に傷、切れ等があったり、消耗している様でしたら、速やかに新 品に交換してください。



(1) ビーター挿入



① ビーターをシリンダーに差し込む時は、両手でビーターをしっかりとお持ちになり、ビーターエンドをシリンダーにぶつけ無いように挿入します。 ビーターが完全に挿入出来ない場合は、ビーターエンドの位置とドライブハブの位置が合っておりませんので、ビーターを手で回転させて、正常な位置に合わせて、奥まで挿入してください。

(2) フロントリット装着

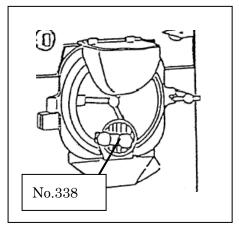


全てのパーツをフロントリッドに組み付けましたら、 No7フロントリッドをNO362リッドホルダーに装着します。

この際に強く落下させますと、部品に傷が入ってしまい、フロントリッドが外れなくなってしまう恐れがありますので、装着の際にはフロントリッドを両手で確りとお持ちになり、ゆっくりと挿入してください。

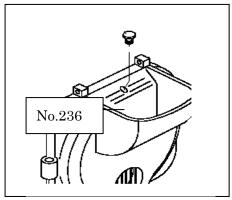
7.製造方法

(1)原料投入

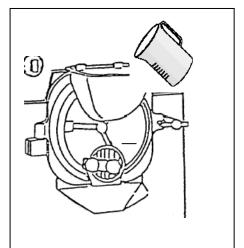


① 機械が洗浄、殺菌されましたら、No338 レバーを下げて、 更にフロントリッドとアイスクリームドアが完全に閉まっている ことを確認してください。

これらのパーツがしっかりと閉じていませんと、原料が漏れてしまいます。



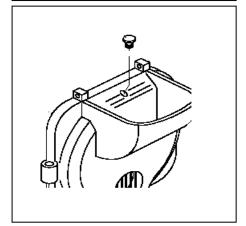
③ No236 のエアープラグを取り外します。 このプラグを取り外すことにより、原料投入の際に、シリンダー内の空気抜きがスムーズになり、原料の跳ね返りを防止できます。



④あらかじめ加熱殺菌、調合された原料を上部より規定量投入します。

最小投入量	最大投入量
1.6 リットル	2 リットル

* この範囲外での御使用は機械の故障やオーバラン不安定の原因となりますのでご注意下さい。



⑤ No236 のエアープラグを取り付け、投入口のマウスピースカバーを閉じます。

(3) 製造開始

① タイマーを 10 分にセットします。

タイマーセット時間は一般的な製造時間です。

原材料や製造回数などにより、常に変動いたしますので、お客さまで調整の上、セットしてく ださい。

②スイッチを製造

の位置にします。

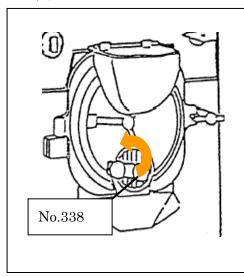
③冷却が開始されます。

製品は、HOM(ハード・オ・マチック)にて、一定の固さに到達しますと冷却を中止します。 HOM が長時間働かない場合は、何らかの不具合が発生していることが考えられます。 トラブルシューティングのページをご参照の上、原因を取り除いてから再度ご使用ください。

④セットしたタイマーが鳴りましたら、製品の状態確認後、速やかにアイスクリームを取り出してく ださい。

そのまま放置した場合、練り過ぎによる製品ダレやチャーニング現象が発生したり、機械への 負担が大きくなり、部品破損や短期間での部品消耗原因となります。

(3)製品取り出し



① 製品が固まりましたら取り出します。





1 度ストップのポジションを通過させますとモーターが止ま ってしまい、再起動により、機械に負荷が掛かってしまい

取り出しは、左図上から、No308 レバーをそのまま上に スライドさせてください。

同じ原料であれば、再度(1)原料投入から繰り返して ください。

★ちがう原料を使用する場合

一度シリンダー内を洗浄します。

効率良く製造するには、色の薄いものから順番に製造されて行きますと、毎回洗浄を行わなくても 色の移りが無く、洗浄回数が少なくて効率がよくなります。

ただし、フレーバーなどにより、臭いが移る可能性がある場合は、毎回洗浄を行ってください。

8.トラブルシューティング

トラブル	原因	対処	
	ブレーカーが落ちていませんか?	ブレーカー作動の原因が不明な場合の再投入はお止めください	
	電源プラグが抜けていませんか?	しっかりと差し込んでください	
	フロントリットが開いていませんか?	フロントリットの安全装置が働いていま すので、閉めてください	
機械が動かない	安全装置が働いていませんか?	機械右後方のリセットスイッチを押して みてください 再発する場合は技術員による、点検 が必要です お買い上げ代理店、または、弊社へご 連絡ください	
	機械後方の吹き出し口が詰まっていま せんか?	吹き出し口に詰まっているゴミを除去してください	
コンプレッサーが少し動いたら停止する	室温が高過ぎませか?	空冷気ですので外気温度が高い場合は安全装置が働きます 外気温度を下げてご使用ください	
	機械の周囲は十分なスペースがありますか?	9 ページをご参考の上、十分なスペー スを確保してください	
	スイッチポジションは製造になっていま すか?	スイッチの位置を確認して下さい	
HOM が働かない	ミックス投入量は適正値ですか?	投入量の最小/最大値をご確認ください	
	室温が高過ぎませか?	空冷気ですので外気温度が高い場合は冷却能力が落ちます 外気温度を下げてください	
フロントリッドから漏れる	オーリング 1211 は装着されていますか?また、消耗、破損はしていませんか?	オーリング 1211 をご確認ください。消耗、破損があった場合は交換してください	
	フロントリットレバーはしっかり締まってい ますか?	フロントリットレバーをご確認ください	
サイドトレイから水や原料が漏れる	ビーターシールは装着されています か?また、消耗はしていませんか?	ビーターシールをご確認ください。 消耗、破損があった場合は交換してく ださい	
アイスクリームドアから水や原料が漏れ	レバーが最下段まで下がっています か?	レバーの位置をご確認ください	
3	オーリング 174 は装着されていますか?また、消耗はしていませんか?	オーリング 174 をご確認ください。 消耗、破損があった場合は交換してく ださい	

- *上記の点検修正を行っても改善されない場合は、お買い上げ代理店、又は弊社コールセンターへご連絡ください。
- * 不具合が発生したままでのご使用はお止めください。重大な故障や事故の原因となります。

9.パーツリスト

	9.ハークリ人			_
	LABO 8/12	Cod. Documento:		Tav. 03
<u>/CARPIGIANI</u> \	LABO 6/12	Codice macchina:	9170	Rev. 00
362	236 1163 28 255A	726 300	28	— 7 — 372 — 1174 — 501 — 433

番号	棚番	商品コード	商品名	上代	入数	摘要
6	606	IC155160190	フロントリット・・カハ・ー・ヒ゜ン		1	
7	30113	IC118100290	フロントリット (ピンなし)		1	マイクロスイッチ未装備機用
7A		IC118100380	フロントリット・(ピン付き)		1	通常装着品
21		IC1420505410				
28	2801	IC177120600	ヒ゛ーターシール		1	
152	15208	IC572300126	マイクロスイッチ		1	
236	23622	IC173138100	ヘット゛ハ゛ルフ゛		1	
255A		IC171100900				
290	29014	IC158260340	マウスヒ゜ースカハ゛ー		1	
300	30010	IC155185060	フロントハー		1	
338	33817	IC510300230	ハント゛ルノフ゛		1	
362	36213	IC164100250	リット゛ホルタ゛ー		1	
372	37242	IC173105230	フロントリット・ノフ・		1	
433	43306	IC178100200	フロントスフ [°] リンク゛		1	
501	50103	IC118125200	アイスクリームト・ア		1	
726	72610	IC171100930	スタット゛ノフ゛		1	
928		IC141110120				
1103	78103	ICJ541000103	オーリング 103(2018)		4	
1174	78174	IC541000174	オーリンク゛174		1	
1211	78211	IC541000211	オーリンク゛1211		1	
					-	

^{*}諸事情により、部品の仕様、価格は予告なしに変更させて頂く場合がございます。

^{*}部品を注文される際は、添付致しました弊社指定書式に必要事項を記入の上 FAX 下さい。 電話による、口頭でのご注文はご遠慮願います。

^{*}出荷日、運送方法(航空便等)の指定をご希望のお客様は、弊社指定書式にその旨ご明記下さい。 (運送費は別途有料になります。)

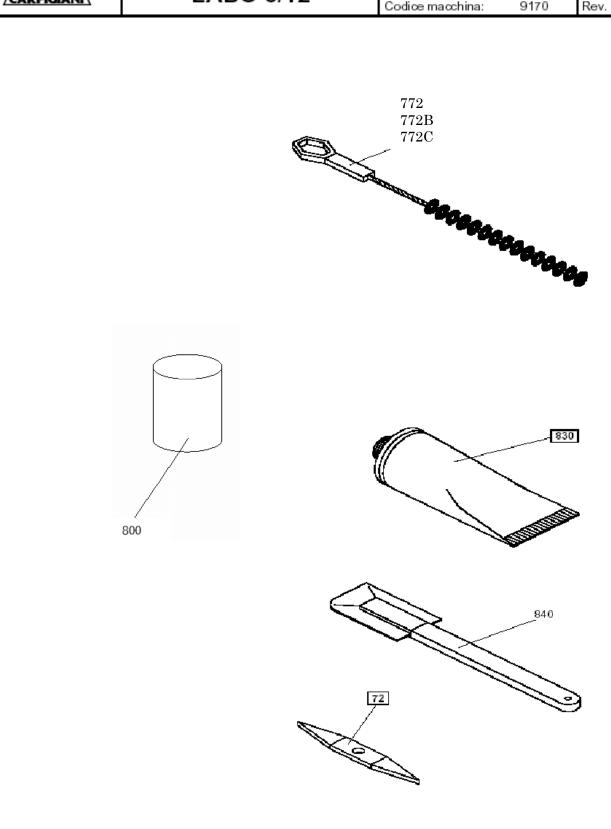
^{*}部品番号、仕様等ご不明な点は分解図に印をつけ、FAX にてお問い合わせ下さいますようお願い致します。



LABO 8/12

Cod. Documento: Tav. 06

Codice macchina: 9170 Rev. 00



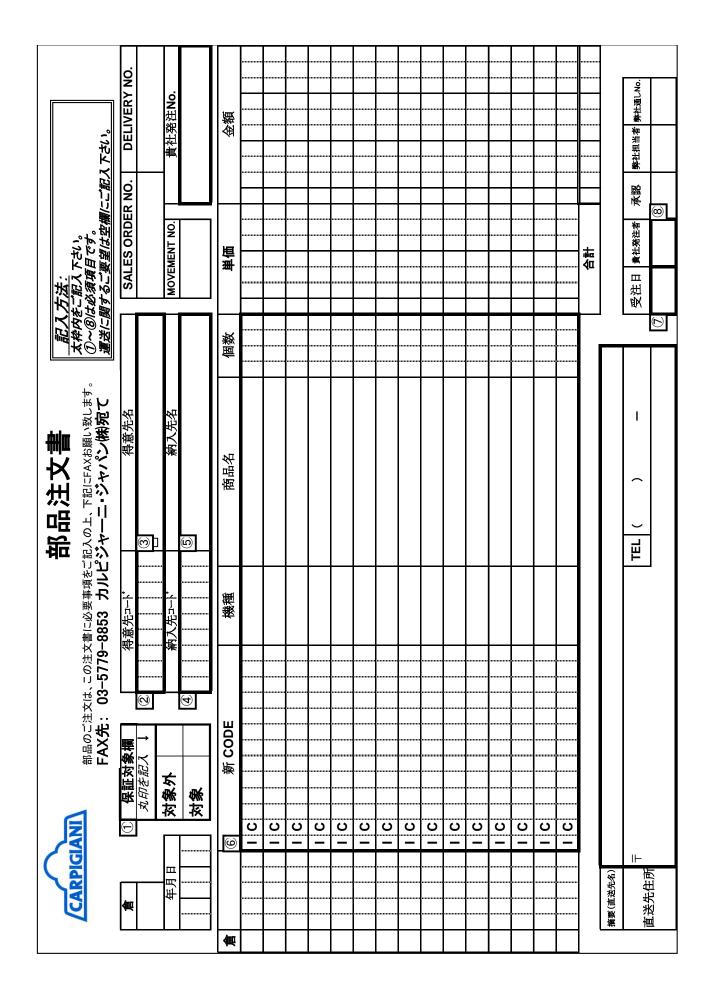
番号	棚番	商品コード	商品名	上代	入数	摘要
72	7200	IC193010040	オーリンク゛リムーハ゛ー		1	
772 772B	75500	ICJ599200108	フ [*] ラシセット 8-15-20		1	8mm, 15mm, 20mm のセット 品となります
772C	75506	IC599100140	フ゛ラシ D40*400		1	
800	80031	ICJ599950001	シリコンシールト゛フ゜ラク゛ S		1	
830	76800	ICJ743000001	シ゛ェリリューフ゛		1	
840	76821	ICJ178600100	スハ°チュラ		1	
					•	
					•	
\vdash			1		1	

^{*}諸事情により、部品の仕様、価格は予告なしに変更させて頂く場合がございます。

*部品番号、仕様等ご不明な点は分解図に印をつけ、FAX にてお問い合わせ下さいますようお願い致します。

^{*}部品を注文される際は、添付致しました弊社指定書式に必要事項を記入の上 FAX 下さい。 電話による、口頭でのご注文はご遠慮願います。

^{*}出荷日、運送方法(航空便等)の指定をご希望のお客様は、弊社指定書式にその旨ご明記下さい。 (運送費は別途有料になります。)





カルピジャーニ・ジャパン株式会社

本社代表

〒154-0005

東京都世田谷区三宿 1-13-1 東映三宿ビル 4 F

T = L03-5779-8850 F A X 03-5779-8853

URL : http://carpigianijapan.co.jp/

本社コールセンター

03-5779-8864

札幌営業所

〒003-0021 札幌市中央区南 9 条西 9-1-35